

1. 研究課題名：

プラットフォーム化を目指した日常行動に関わる LCA  
データの整備と教材開発

2. 研究代表者氏名及び所属：

栗栖 聖（東京大学・先端科学技術研究センター）



3. 研究実施期間：平成 25～27 年度

4. 研究の趣旨・概要：

家庭部門での環境負荷削減に向け、Life Cycle Assessment に基づく市民の環境意識醸成が求められる。従来の LCA 教育の取組みは継続性が担保できない等、問題点も多い。そのため、大人が行動動機を継続しうる魅力的なツール開発や、長期的視野に立った LCA 的思考法教育が必要である。

本研究では、専門家に限らず幅広い開発主体が容易に使用できるインターフェースを装備した、日常行動に関わる信頼性の高い LCA データベース整備を目指すものである。

これにより、行政は個別に開発を進めるのではなく、データ提供プラットフォームに徹することができ、様々な開発主体により環境教育に利する魅力的かつ多くの教材やツールを社会に効率的に提供していくことが可能となる。

5. 研究項目及び実施体制：

- 1) 一般市民の環境配慮行動選択における意識と心理構造の解明（東京大学）
- 2) API 仕様 LCA データベース作成に向けたユーザー要望の明確化（東京大学）
- 3) 家事行動に関する環境負荷算定ツールの開発（産業技術総合研究所）
- 4) LCA 的思考法教育マテリアルの試行と評価（未踏科学技術協会）
- 5) 家庭科教育における環境教育の実態評価と教材開発（香川大学）

6. 研究のイメージ

